

火災を防ぐ②

間接照明 からの出火



【概要】

一般住宅において、間接照明の上にトイレットペーパーやタオルなどの可燃物を置いていたところ、火災となる事例がありました。



(イメージ)

【原因】

今回の火災では、白熱球の付近に可燃物を置いていたため、高温となり火災となりました。また、2016年11月6日には東京都新宿区の神宮外苑で行われた「東京デザインウィーク」で木製の展示物が間接照明からの発火により延焼し展示物の内部で遊んでいた男児(当時5歳)が死亡するという痛ましい事故も発生しています。

照明器具を使用する場合は、まわりに可燃物は置かず照明器具の熱により高温にならないよう十分注意してください！

**近くに燃えやすいものを置かない！
指定ワット数以上の電球は使わない！
照明器具を布等で覆ったりしない！**

蛍光灯を使用していた照明器具に、見た目の形状や端子の口金が同じLED蛍光灯を使用したところ、組合せの悪い照明器具だと内部の設計の違いから発熱や発煙・異臭など事故が起きる可能性があります。消費者庁は、LED照明に関する事故が2009年9月から2019年3月10日までに328件寄せられたと発表しています。従来の蛍光灯用照明器具にLED蛍光灯を使用する際には注意表示等を確認しご使用ください。

お問い合わせ：赤磐市消防署 予防係 Tel: 086-955-2287